

2024年 11月 11日

富久山総合学習センター 御中

郡山市富久山町久保田字岡ノ城 9-1
つくし子ども食堂 岩崎 和美

バザー開催における施設利用許可のお願い

平素よりつくし子ども食堂にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和6年度11月、地域の方のご厚意により、富久山町内の空き店舗をつくし子ども食堂の拠点として、活用させていただくことになりました。

現在、清掃や必要機器の補修・改修を進め、来年度6月の運用開始に向けて動き始めました。

早急に必要な整備の補修・改修の具体的な内容は、以下の通りです。

- ・水道修理(蛇口の両サイドから水漏れしています)
- ・暖房器具の設置(暖房機器がないため、ガス暖房機器の導入を検討しています)
- ・ガス暖房機器に関わるガス配線工事

上記補修・改修に関わる資金となるバザー開催における施設利用のご検討をお願い申し上げます。

詳細は下記の通りです。

記

内容：1月19日（日）バザー開催における施設利用許可のお願い

理由：子ども食堂の拠点となる富久山町町内の施設内における改修・修理費用のため

効果：現在は富久山総合学習センター及び別館の会議室等で会食をしているため、乳児や障害を持つ児童が参加した際に、床等に寝かせたりすることが困難な場合があり、児童や家族の負担が生じる場合があります。

ご厚意によりお借りできる空き店舗は別館の北隣に位置するため、休憩場所や温かい食事の調理場として利用させていただくことで、より多くの子どもたちの居場所になると考えています。

【つくし子ども食堂】 団体名：旅の書会 協力団体：福の書会

代表の岩崎は、千葉清藍として活動しています。今年、アメリカ活動12年を迎えました。現在は福島県立博物館の運営協議委員の他、NPO 法人ワンリーフ代表、任意団体 旅の書会・福の書会に携わっております。

東日本大震災で仮設住宅に避難した人々を対象に書道教室を実施したメンバーで立ち上げた当団体「旅の書会」は、福島県の子どもたちが地域・日本文化への知識と理解を深めるためのプログラムを実施しています。

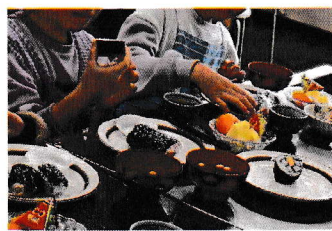
福島県の伝統手すき和紙を使用した掛軸ワークショップや、会津桐の伝統を学ぶ紙芝居の読み聞かせをはじめ、陶芸や染色に至るまで幅広い知識と経験を養うことで、福島はもとより日本代表としての国際人材を育成することを目的としています。

また、2023年から子ども食堂をはじめ、郷土食・行事食・国際食を学ぶ機会を創出しています。皆で作る、食べる、語り合うことで信頼関係を育みながら、同世代と多世代の交流の機会を創出しています。

現在は、ひとり親世帯および障害を持つ児童を含む子どもたちへの食事の提供や文化活動を定期的に行っています。(月2回、主に富久山地域にて実施)



子ども食堂の様子



恵方巻とこづゆを子どもたちと一緒に作りました。



手づくり味噌を使ったメニュー。



海外からの留学生らと国際文化交流を実施。